

長野



長野県庁
〒380-0828
長野市北石堂町
1182
TEL 026-229-1212
FAX 026-229-5318
nagano@nagano.jp
Eメール 046-534-1211
相談申し込み
0120-70-3034
配達料金
0120-34-4546
伝真・FAX
0570-046460
Web
http://www.nagano.jp
nagano.nagano.jp

29日に全線復旧
飯田線
JR東海は、線路内への土砂流入で一部の区間で運行を休止した。

観光を象徴する地名だったことを分かってもらい、未来につなげていきたい」と先を見つめる。

ガイドブックは2万部を印刷し、千曲市内の全中学生のほか、同市を拠点に活動する市民団体やサークルなどに配布して郷土愛を育んでもらう。さらしなルネサンスのホームページからもダウンロードでき、県外で暮らす地域の出身者などにも活用を促す。

西沢さんは「美しさらしな」を合言葉として市民自身が高郷土の魅力を再発見し、そして全国へと広めていきたい」と力を込めた。

「さらしな」ブランド再興を

千曲市民有志、ガイドブック刊行

古くから多くの和歌や俳句に詠まれ、日本人の美意識を醸成してきたブランド地名「さらしな」を再興しようと、千曲市の住民有志グループ「さらしなルネサンス」が、郷土の魅力を活かすガイドブック「美しさらしな」を刊行した。その地名は「更級」や「更科」などの漢字があてられる同市西部一帯の呼称だが、かつての「更級郡」は平成の大合併で消えてしまった。有志グループは「古代から親しまれてきた地名であり、未来に向かって語り継ぐ遺産にしたい」と意気込んで

松尾芭蕉に魅了

「さらしな」は、千曲市の千曲川西岸を中心とした地域。国の名勝で重要な文化的景観に選定された「城跡の棚田」や、城跡山の名で知られる「城跡山」(標高1252m)、平安時代の神社「延喜式神名帳」にも記載があり収穫を祝う大団圓祭が国の選択無形民俗文化財に指定されている武水神社などが点在し、風光明媚な土地で名高い。

住民たちは平成26年、消えた地名を文化や教育、経済活動に生かすべく「さらしなル



城跡の棚田は「さらしな」の里」を象徴する風景だ(信州千曲観光局提供)

ネサンス」を立ち上げた。現在約50人の会員が地域振興の講演会やイベントなどを催している。ガイドブックの作成は、千曲市協働事業推進制度に採択され、会員と市歴史文化財センターがタッグを組み、1年がかりで取材、執筆、編集の作業をなした。ガイドブックはA4判32ページ。古今和歌集の一首から名付けられたとされる「更級日記」・見た目の白さから命名された「更科そば」など、地域との関係を含めて興味を引く文章が満載だ。江戸時代まで天皇の住まいだった京都御所の清涼殿には「更科の里」と題したすずま絵がある



ガイドブック「美しさらしな」を手に地域の魅力を語る西沢賢史さん

ことも紹介し、西行や松尾芭蕉、小林一茶らを魅了した信濃の「さらしな」は、ブランドネームだったとひそかに

あこがれの地
編集長を務めた、さらしなルネサンス副会長の西沢賢史さん(70)は「都とつながりが深く、当時の人たちにあって、ここがあこがれの地だったことを現在の市民の多くは知らない。更級郡の名が消えたのは残念だが、かつて日本

隣接8県応援態勢整う

愛知県と防災ヘリ協定締結

県消防防災ヘリコプター「アルプス」の墜落事故によって失われた県内上空からの活動を補うため、県は26日、愛知県と防災ヘリの協定を締結した。来るゴールデンウィークには、

多くの人がハイキングや山歩き、1415以上の高度でのホバリングは行えないため、里山を降りた山岳遭難の救助は原則としてできないという。

県は墜落事故で唯一の消防防災ヘリ「わかしゃち1」機(写真)と同機提供)を県営名古屋空港を拠点に運用している。協定は、埼玉県との間で3月30日に結んだ協定と同様内容で、出動で生じた燃料費や乗員の出場手当、旅費、日用品などの経費を長野県が負担する。

安曇野、塩尻は現状維持

ふるさと納税返礼で方針

過熟するふるさと納税の返礼品に対して贈務省が買戻率が高い家電製品などを返礼品にしないよう求める通知を出したことを受け、パソコンや時計を返礼品とする安曇野、塩尻両市は25日、現状を維持する方針を示した。

両市は4月1日付の各自自治体に対する通知で、電気・電子機器や家具、貴金属、宝飾品などの資産価値が高いものを返礼品としないことや、調達額を寄付額の3割以下とすることを要請した。

安曇野市は、市内で製造された商品を返礼品として返している。28年度の寄付額は約2億3千万円で、高資産価値の品は約6割を占めたという。同市の小口頼市市長は記者会見で「地域を知ってもらうのが目的だ」として、以前から返礼品の調達額を寄付額の3割以下にしている点などを強調し、現状維持の方針を表明した。

消防防災ヘリを失い、運航再開のめどは立っていない。しかしヘリを活用した応援協定はこれにより県境を接する8県全てと結んだことになり、上空からの消防防災活動力を補完する対応は一区切りが付いた。県危機管理本部は「どの県からの応援を仰ぐかは、出動要請する事案の内容や発生場所などから判断したい」としている。

市長は25日の記者会見で、現状のままで続ける意向を示したうえで「今後慎重に検討したい」と説明した。

一方、塩尻市は、市内で製造されているセイコーの高級腕時計や、市内に事業所があるセイコーエプソン製のプリンターなどを返礼品として返している。28年度の寄付額は約2億3千万円で、高資産価値の品は約6割を占めたという。同市の高橋宗弘市長は25日の記者会見で、現状のままで続ける意向を示したうえで「今後慎重に検討したい」と説明した。



愛知県消防防災航空隊は防災ヘリ「わかしゃち1」機(写真)と同機提供)を県営名古屋空港を拠点に運用している。協定は、埼玉県との間で3月30日に結んだ協定と同様内容で、出動で生じた燃料費や乗員の出場手当、旅費、日用品などの経費を長野県が負担する。

活動の領域については、同航空隊の安全運航要領に